



「保険で良い歯科医療を」京都連絡会が発足！！ 結成総会に37人が参加、 運動方針と代表世話人を承認

2018年5月12日（土）の午後、「保険で良い歯科医療を」京都連絡会結成総会が京都平安ホテルにて行われた。当日は、第一部の結成総会、第二部の市民講演会、第三部は祝賀会と三部構成で行われた。

まず、第一部の結成総会では、同連絡会の世話人や関係団体などから総勢37人の出席があり、京都府歯科保険医協会の秋山和雄理事長が冒頭の挨拶で、前身の「保険で良い入れ歯を」運動を含めて、「保険で良い歯科医療を」運動の成り立ちを述べるとともに、今こそ同運動の取り組みが重要になるとの熱弁で開会した。その後、来賓の「保険で良い歯科医療を」全国連絡会 雨松真希人会長から、医療の平等性を担保するために同運動の重要性が語られた。続いて、世話人として同連絡会に賛同を得ている立憲民主党・山本和嘉子衆議院議員より、歯科医療を提供する側も受ける側にとっても「良い歯科医療」であることが重要だと述べられ、その声を国会に届けるなど同連絡会の一助となりたいと挨拶を頂戴した。来賓挨拶の最後に、全国保険医団体連合会・宇佐美宏歯科代表から、歯科保険医運動の歴史が語られ、直近の連絡会の立ち上げから8年間滞ったあとに出来上がった京都連絡会の意義は大変大きく、今後ますますの同運動の発展に期待が高まるとの言葉が述べられた。

その後、議事提案に移り、京都連絡会としての運動趣旨と代表世話人に京都府歯科保険医協会・秋山理事長を推薦する提案が行われ、全て承認された。





「普遍的な老化をどう乗り越えるか？」～ユニットで効果が見える歯科発 表情筋トレーニング～

結成記念市民講演会に 120 人が参加

第二部では結成記念市民講演会が行われ、東京都ご開業の宝田恭子先生を講師に招き、「普遍的な老化をどう乗り越えるか？ ～ユニットで効果が見える歯科発 表情筋トレーニング～」と題した講演会を行った。参加者は総勢約 120 人で、歯科関係者のみならず、医科医療機関従事者や患者、一般市民など幅広く参加があった。また、参加者の大半は女性が占める形となった。

講演会では、普遍的な老化＝加齢によって骨が痩せ、それを覆う筋肉が下垂する現象は、皆平等に起きるものであるが、それに対抗すべく表情筋トレーニングを行うことは大変有効であることを第一に解説。参加者はトレーニングをその場で実際に行い、直ちに表情の変化を実感するなど、トレーニングがどれだけ効果的であるのかを体感した。どの参加者も講師の実演を食い入るように見つめてエクササイズを行い、その効果に感嘆の声が上がるなど、いつまでも若々しく健康でありたい、という全ての人の願いを垣間見た。

その後、表情筋など口腔周辺の筋肉を鍛えることは、嚥下機能の向上など全身の健康にも寄与することを伝え、ただ美しさを追求するためのエクササイズではなく、口腔機能の向上＝全身の健康に繋がるトレーニングであることが伝えられ、参加者から大変好評を博す講演会となった。



結成記念祝賀会では、近隣の連絡会より激励！ 京都に続けと三重や宮城で準備が進行中



第三部では結成記念祝賀会が行われ、結成の門出を参加者全員で祝い、多数の方からご挨拶をいただいた。連絡会に賛同していただいている共産党の倉林明子参議院議員をはじめ、記念講演会講師の宝田恭子先生、京都連絡会結成に向けた懇談会でお世話になった愛知県保険医協会副理事長の大藪憲治先生、近隣の先輩連絡会である大阪連絡会・兵庫連絡会・愛知連絡会、そして 7 月に連絡会を設立予定の三重県保険医協会、連絡会結成に向けて準備をすすめている宮城県保険医協会から心温まる激励のご挨拶をいただいた。祝賀会は、京都連絡会結成を契機に、近畿・東海地方、全国にどんどん連絡会をつくっていく機運が高まるような内容だった。

最後に京都連絡会世話人である京都府保険医協会副理事長の渡邊賢治先生が閉会の挨拶を行い、盛況のまま終了となった。



大阪連絡会・戸井先生



兵庫連絡会・加藤先生



愛知連絡会・江原先生



倉林参議院議員



三重県保険医協会
鶴飼副会長



宮城県保険医協会
井上理事長

